

## 東アジアにおける胃癌リスク予測のためのヘリコバクター・ピロリ血液中バイオマーカーに関する研究

### 1. 研究の対象

「多目的コホートにおける血液を用いた胃癌のコホート内症例・対照研究」にご協力くださった方（胃癌症例 511 名、対照 511 名）を対象とします。

### 2. 研究目的・方法

#### ◇ 研究の目的

胃癌発生率の高い中国、日本、韓国から 8 つの前向きコホート研究コンソーシアムを結成し、新規バイオマーカー・パネルを東アジア集団の胃癌リスク予測に用いることが可能か検討します。

#### ◇ 研究の方法

アジア人の胃癌発生リスクを予測するバイオマーカーを同定するため、3 段階の研究を計画しています。第 1 段階として東アジアにおける 6 つの前向きコホート研究からなるコホート内症例対照研究において、ヘリコバクター・ピロリタンパク質抗体、ペプシノーゲンレベルと胃癌との関連が再現されるかどうか検討します。また、生活習慣アンケートの情報、血中のポリオーマウイルス、EB ウイルス、自己抗原と胃癌との関連についての解析も実施します。第 2 段階としてさらに炎症性因子を加えた場合に予測能が向上するか検討します。第 3 段階として東アジアにおける胃癌リスク予測モデルを構築します。

本研究では、共同研究機関であるドイツがん研究センターに血液試料を提供し、デューク大学でデータ解析を行う予定です。

◇ 研究の実施期間：2024 年 3 月 31 日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

◇ 「多目的コホートにおける血液を用いた胃癌のコホート内症例・対照研究」の既存資料

- ① 生活習慣アンケート調査情報等
- ② 血漿検体等
- ③ 生年月日、転出日、死亡日、全死因、がん罹患登録情報等
- ④ その他、郵送調査等において判明したがん以外の疾病既往情報や郵送追跡調査において収集した健康状態に関する情報等
- ⑤ 本研究に先行して実施された血漿検体を用いた研究において測定されたデータ等

#### 4. 外部への試料・情報の提供・公表

##### ◇ 試料・情報の提供

試料・情報の送付は、書留・配達記録など、受取人の手元に確実に届くことを保証する仕組みを用います。電子媒体では、暗号化・パスワード管理など、第三者がファイルを容易に閲覧できない仕組みを施します。

##### ◇ 情報の公表

研究の成果は、論文および学会等で発表します。

#### 5. 研究組織

デューク大学	Meira Epplein	(研究代表者)
国立がん研究センター	井上 真奈美	
ドイツがん研究センター	Michael Pawlita	

#### 6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報、知的財産の保護に支障のない範囲で、研究計画書、および関連資料を閲覧することが可能です。また、試料・情報が、当該研究に用いられることについて、対象者の方、もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も対象者の方に不利益が生じることはありません。

##### ◇ 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター 社会と健康研究センター 疫学・予防研究グループ内  
研究事務局 澤田 典絵

電話 03 (3547) 5201 (内線 : 3336)

##### ◇ 研究責任者

国立がん研究センター 社会と健康研究センター  
予防研究部長 井上 真奈美

##### ◇ 研究代表者

デューク大学 Meira Epplein